

平成25年度

高鍋町外部評価委員会

答 申

平成25年10月

高鍋町外部評価委員会

目 次

1. 高鍋町外部評価委員会とは	1
2. 外部評価委員会委員名簿	1
3. 平成25年度高鍋町外部評価委員会による評価実施概要	2
4. 評価対象の事務事業	2
5. 高鍋町外部評価委員会の開催日時	3
6. 評価結果の概要	3～13
7. 今後の課題と改善への提言及び要望	14～15

1. 高鍋町外部評価委員会とは

各課が実施した事務事業評価（内部による1次評価）の結果について、評価の客観性・公平性・信頼性を高めるために、第三者評価機関として外部評価委員会を設置し、評価を行う。ただし、その事業の継続や廃止、休止等の判断ではなく、町の内部評価に対する外部からの客観的評価と位置づける。

2. 外部評価委員会委員名簿

外部評価委員会は、下記の7名（学識経験者2名、公募委員5名）で構成されている。

【高鍋町外部評価委員会委員】

役職	氏名		任期
委員長	柚原 知明	学識経験者：宮崎産業経営大学経営学部教授	平成25年 8月1日～ 平成27年 3月31日
副委員長	鶴田 禎人	学識経験者：宮崎大学教育文化学部講師	平成24年 6月1日～ 平成26年 3月31日
委員	大野 俊昭	公募委員	平成24年 8月1日～ 平成26年 3月31日
委員	坂本 亜理	公募委員	平成24年 8月1日～ 平成26年 3月31日
委員	知念 美佳	公募委員	平成24年 8月1日～ 平成26年 3月31日
委員	鴫田 恒雄	公募委員	平成24年 8月1日～ 平成26年 3月31日
委員	湯浅 真嘉	公募委員	平成24年 8月1日～ 平成26年 3月31日

3. 平成25年度 高鍋町外部評価委員会による評価実施概要

◎ 対象年度：平成24年度継続事業

◎ 対象数：事務事業10件

外部評価委員7名が、平成25年度評価事務事業67事業から選択。

◎ 評価手順：

(ア)事務事業の評価表と参考資料を配布する。

(イ)各担当職員が評価表に沿って説明を行う(10分~15分)。

(ウ)質疑応答・意見交換を行う(20分~25分)。

(エ)外部評価シートへの記入により、評価判定及び意見の集約を行う。

4. 評価対象の事務事業

No.	事務事業名	担当課
1	ひとり親家庭医療助成事業	健康福祉課
2	児童館助成事業	
3	防災事業	総務課
4	福祉バス管理運営委託事業	健康福祉課
5	子育て応援とくとく商品券発行事業	産業振興課
6	商店街にぎわい創生事業	
7	商店街まちなみ景観形成事業	
8	一般廃棄物(し尿)収集運搬・処理事業	町民生活課
9	中小企業相談所事業	産業振興課
10	地場産業振興会補助事業	

5. 高鍋町外部評価委員会の開催日時

平成25年度は外部評価委員会を4回開催し、10事業について審議。

その他、町長への答申を行う。

委員会	日時	審議内容等	会場
第1回	平成25年8月22日(木) 13:30~17:00	事業評価(3事業) ・ひとり親家庭医療助成事業 ・児童館助成事業 ・防災事業	防災センター 会議室
第2回	平成25年8月23日(金) 13:30~15:30	事業評価(2事業) ・福祉バス管理運営委託事業 ・子育て応援とくとく商品券発行事業	第1会議室
第3回	平成25年9月3日(火) 15:00~17:00	事業評価(2事業) ・商店街にぎわい創生事業 ・商店街まちなみ景観形成事業	第1会議室
第4回	平成25年9月6日(金) 13:30~16:30	事業評価(3事業) ・一般廃棄物(し尿)収集運搬・処理事業 ・中小企業相談所事業 ・地場産業振興会補助事業	第1会議室

【その他】

日時	内容	会場
平成25年10月23日(水) 13:30	町長へ答申書提出	町長室

6. 評価結果の概要

担当課による1次評価(内部評価)をふまえ、外部評価委員会では、その事業の「目的・内容、成果指標、活動指標、妥当性、有効性、効率性」を勘案して評価を行った。その結果については、以下のとおりである。

ただし、評価判定については、事業の今後の方向性や改善点等にも様々な捉え方があるため、意見提言の形で委員会の意見を集約した。

1	ひとり親家庭医療助成事業	担当課	健康福祉課
---	--------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 (7名)

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (7名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (7名) なっている (0名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (7名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (7名) 高い (0名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (7名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (3名) 高い (4名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(1名) 拡充 (6名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【意見提言】</p> <p>重要事業として今後も維持継続が求められると思います。</p> <p>ひとり親にとって、子どもの医療費の負担は大きいとされますので、維持していただくのが良いと思います。</p> <p>ひとり親家庭の医療費の一部を助成することは、低所得者対象であり非常に良い助成事業であるので引き続き継続していくことが適当と思われる。</p> <p>外来での自己負担を減らしてあげるといいのではないのでしょうか。</p> <p>戸籍は抜いて一緒に住んでいるような親子がいると聞いています。このような家庭への対応はどうなっているのでしょうか。</p> <p>自分が子供の時に父が死別し、ひとり親を経験しているので、この事業は必要だと思います。</p>	

2	児童館助成事業	担当課	健康福祉課
---	---------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 (7名)

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (7名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (7名) なっている (0名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (7名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (3名) 高い (2名) ふつう (1名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (6名) 得られている (1名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (1名) 高い (5名) ふつう (1名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(1名) 拡充 (5名) 維持 (0名) 縮小 (1名) 廃止
<p>【意見提言】</p> <p>重要事業だと思われるが、「放課後児童クラブ事業」との住み分けについては今後議論が求められるのではないのでしょうか。</p> <p>東小中の子供たちも、一応行く所はあるようですが、事業内容を見るとやはり、東にも可能であれば児童館があるのが理想ですね。</p> <p>子育て支援の立場からも、児童に健全な遊びを与え子供の健康を増進する、その目的は継続すべき事業である。但し、高鍋町全体の利用を考えると西小西中区の利用が多く、東小東中区に一ヶ所児童館の施設を新設することも検討して欲しい。</p> <p>国からの補助がなくなった時に廃止すればよかったのでは。西小校区にしか知られていないし、使ったこともない。放課後児童クラブで東小学校区もやっているのだから、全て放課後児童クラブに統一するべきである。</p> <p>東小校区地区にも児童館の設置を強く望んでおります。子供達が遊ぶ施設を設けるべきです。</p>	

3	防災事業	担当課	総務課
---	------	-----	-----

◎評価表記載内容の判定

回答人数 (7名)

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (7名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (7名) なっている (0名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (7名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (7名) 高い (0名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (7名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (5名) 高い (2名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

拡充	(7名) 拡充 (0名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【意見提言】</p> <p>町民の方々へ災害時の影響度について、様々な状況(災害の強度)を想定して教宣いただきたい。又、各課としての取組みだけでなく、町行政全体の組織的取組みの推進を期待するところです。</p> <p>今後も全町的な組織しくみにおける検討を基礎に、重点的に拡充を図るべき事業だと思われる。町民の関心も高く、必要な事だと思います。</p> <p>防災行政無線の設置について、拡声子局の増設で38局計画されており、災害(特に地震)時に必要な整備であり行って欲しい。但し、25年度予算が約2億円となっており、指名競争契約にあたっては、行政上の予定価格を適正な調書に基づき落札決定されることを希望します。</p> <p>防災訓練は、防災士、学校、病院など全部一緒に訓練をすることはできないのか。防災無線は平日の昼でも全ての地域に聞こえるようにするべきである。38局で聞こえるのか。</p> <p>町民一人ひとりが防災に対する意識を持って欲しいと思います。</p> <p>防災事業は大切な事だと思っております。</p>	

4	福祉バス管理運営委託事業	担当課	健康福祉課
---	--------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 (7名)

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (7名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (6名) なっている (1名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (6名) なっている (1名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (1名) 高い (6名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (7名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (5名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

維持	(0名) 拡充 (7名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【意見提言】</p> <p>福祉バス利用が必ずしも高齢者や障害者以外の方々のために利用されているとは限らないようです。低い比率のようですが、一層の管理強化をお願い致します。</p> <p>障がい、高齢者などの交通弱者にとって重要な事業であると思われます。質問にあったように、運行の中で当事者の方々が使用されている割合を算出され、ニーズを充足できているか検討していただくとうまいかと思えます。</p> <p>事故等に気を付けてください。バスは町民に必要と思います。</p> <p>今後、4分の1は高齢者といわれており、高齢化社会で老人クラブ等が増加するものと予想されます。そういった高齢者団体や障害者団体等の社会参加の促進を図るためにも、対象順位を優先して利用されるよう要望する。そのことによって高齢者の生きがいと社会への参加意欲が高まると思われる。</p> <p>福祉バスという名のとおり、福祉に関する団体にのみ使用してほしいと思う。マイクロバスの補充としての使用は考えてほしい。</p> <p>福祉バス本来の利用内容が少し不透明の気がしました。 内容が解りづらいと思ってしまった。</p>	

5	子育て応援とくとく商品券発行事業	担当課	産業振興課
---	------------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 (7名)

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (4名) 妥当である (3名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (5名) なっている (2名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (5名) なっている (1名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (3名) 高い (4名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (5名) 得られている (2名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (5名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(1名) 拡充 (6名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
----	---------------------------------

【意見提言】

基本目標である中心商店街の活性化と、受益者である子育てをされている町民への支援が混同されている。事業の本質的な在り方について、再検討が必要である。

商店街支援にしては妥当だと思われるので、子育て世帯以外への拡充も視野に入れてもよいのでは？

中心商店街の活性化だけを考えると、「子育て応援」と特化せず、一般でもいいのかなと感じました。

事業者が「子育て応援」に対し、目標が「中心商店街の活性化」とあり、理解できない部分がある。商店街の活性化を図る目的であれば、「子育て応援」をはずし、一般に販売しても良いかと思われる。子育て世代に対する支援拡大であれば、それに合った目標が良いか考える。

子育て応援になっていない気がします。売り捌き店を考えてほしいです。

子育て応援の商品券の販売枚数を増やしてもらいたい。

他の部類の商品券も発行しても良いと思いました。

町の商店街の活性化につながれば

6	商店街にぎわい創生事業	担当課	産業振興課
---	-------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 (4名)

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (4名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (1名) なっている (3名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (3名) なっている (1名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (2名) 高い (2名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (4名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (2名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

維持	(0名) 拡充 (3名) 維持 (1名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【意見提言】</p> <p>①タヤケ市と、②高鍋まちなか元気市については、成果指標として、参加している商店及び商店主に調査アンケートを実施し評価すべきと思います。ご検討ください。</p> <p>中心商店街のにぎわい創出を支援する重要な事業と考えられる。 行政と商店街が成果を共有した上で、効率よく商店街の発展を支援していただきたい。</p> <p>商店街の活性化等の事業補助としては、今後も継続していくことが必要と思われる。ただし、補助金がマンネリ化しないよう、どのような成果があったのかデータ等の結果を、各商店街等の組織会と連携を密にいただき、整備していくことが必要かと思われます。</p> <p>タヤケ市の方は、その日だけの人の集まりで毎年決まりきった感じになっているので、商店街に人を集めたいのであれば、工夫がほしい。</p> <p>まちなか元気市も、決まった人たちの集まりのような感じで、商店街に賑わいはないように思える。あかりプロジェクトも、それで人を集めることができるのか。</p>	

7	商店街まちなみ景観形成事業	担当課	産業振興課
---	---------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 (4名)

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (1名) 妥当である (3名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (0名) なっている (4名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (1名) なっている (3名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (1名) 高い (1名) ふつう (2名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (1名) 得られている (3名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (0名) 高い (2名) ふつう (2名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(0名) 拡充 (2名) 維持 (1名) 縮小 (1名) 廃止
<p>【意見提言】</p> <p>事業の目的(商業及び観光の振興を図る)に対して、成果指標と活動指標をどう捉えていくかという点で再検討整理の必要性を感じます。 特定の商店に対する建物の新築改築支援になってしまう危険性が存在します。 あくまで商店街主導で行われる必要がある。 補助がなくても改修するんだという店主の熱意を行政が支援するぐらいでないと、最終的に商店街の活性化にはつながらない。 補助対象地域に所在する商店街等となっており、一部の商店街等の補助としては、町全体から見ると縮小でよいと思われる。 町全地域を見た場合、他に補助すべきものがあるのではないかと検討してほしい。 また、昨年4件の補助金が交付されているが、町民に分かるように広報してほしい。 町並みを統一すると、観光の発展につながるのか。 しっかりした駐車場を増やすなどの人を集めることにつながることに使用してほしい。町民がどの店に補助されているか分からないということはおかしいのでは。 外観改修は、どこまでが外観の対象か分かりづらい。</p>	

8	一般廃棄物（し尿）収集運搬処理事業	担当課	町民生活課
---	-------------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 (6名)

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (6名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (6名) なっている (0名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (6名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (5名) 高い (1名) ふつう (0名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (6名) 得られている (0名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (4名) ふつう (0名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(0名) 拡充 (6名) 維持 (0名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【意見提言】</p> <p>施設負担金の比率が高いことは気になるが、事業自体は必要性が高いと思われる。活動指標には「処理量に応じ」負担金を支払うとあるので、その金額を改めて精査する必要があります。</p> <p>このままの体制でいいと思いました。</p> <p>下水道や合併処理浄化槽の設置の推進が不可欠であり、同事業の一層の計画的推進を図っていただきたい。</p> <p>下水道、合併処理浄化槽の普及を進め、事業の縮小を考えてほしい。</p> <p>生活のためには必要な事業であると思います。</p> <p>処理施設の老朽化はどうしても避けられないと思うが、他の地域と共同で新しい施設検討をしてもらいたい。</p>	

9	中小企業相談所事業	担当課	産業振興課
---	-----------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 (6名)

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (5名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (1名) なっている (5名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (4名) なっている (2名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (4名) 高い (1名) ふつう (1名) 低い
有効性	成果が得られているか (今後得られる期待があるか) (4名) 得られている (2名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (2名) 高い (2名) ふつう (2名) 低い

◎評価判定 (今後の方向性)

維持	(0名) 拡充 (5名) 維持 (1名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【意見提言】</p> <p>成果指標と活動指標に対する見直しをご検討いただきたい。 特に成果指標については、事業の目的、意図に対していかに評価するか、また、評価可能かについて充分にご検討ください。</p> <p>行政と商工会識者等が協働して、中小企業支援に取り組む重なる事業だと思われる。お金を出すことだけにとどまらず、ぜひお互い知恵を出し合って、地域経済の底上げに取り組んでいただきたい。</p> <p>成果指標がはっきりしていない、分かりづらかったので、活動指標も心もとない印象を受けましたが、事業としては必要な事業だとは思いました。</p> <p>中小企業の育成を目指し、中小企業を振興活性化するためにも、種々の相談に応じ問題点を解消することは、中小企業の経営に役立つものと思われる。</p> <p>商工会議所は必要だと思うが、補助金の割合に対して、地域の中小企業の安定がはかられているか疑問に思う。見直しが必要なのでは？</p> <p>町民の理解を示すには少し不透明かと思いました。</p>	

10	地場産業振興会補助事業	担当課	産業振興課
----	-------------	-----	-------

◎評価表記載内容の判定

回答人数 (6名)

目的内容	事業の目的内容は妥当であるか (6名) 妥当である (0名) 妥当でない
成果指標	事業の目的の達成度を表す指標となっているか (6名) なっている (0名) なっていない
活動指標	成果指標を実現するための指標となっているか (6名) なっている (0名) なっていない
妥当性	町民のニーズは高いか (3名) 高い (0名) ふつう (3名) 低い
有効性	成果が得られているか(今後得られる期待があるか) (5名) 得られている (1名) 得られていない
効率性	コストに対して効果は高いか (1名) 高い (3名) ふつう (2名) 低い

◎評価判定(今後の方向性)

維持	(2名) 拡充 (3名) 維持 (1名) 縮小 (0名) 廃止
<p>【意見提言】</p> <p>地場産業振興会には、現在33の企業が参加されているということですが、町内に存在する多様な産業や企業への参加を呼びかけて、地場産業の振興に関する本質的な在り方についてご検討いただきたい。</p> <p>限られた企業のための補助事業になっている印象があります。</p> <p>地場産業振興対策補助金とのすみ分け、ブランド戦略の今後など、町と事業者との協働の中で解決していく課題は多いが、ぜひ地場産業の振興のため支援を強化していただきたい。</p> <p>高鍋町の地場産品を県内外のイベント等を通じてPRすることは、高鍋町産業及び観光面に非常に効果があると思われるが、その出展の商品等の選別やPRの仕方に向上を図るようお願いしたい。</p> <p>物産展に参加するまえに高鍋ブランドをつくるほうが先なのではと思う。対策補助金に移行すべきでは。</p> <p>町をあげて専門家を雇ってブランドを作り上げるべきだと思う。ただ物産展に参加しても、県外はもちろん赤字になるのは当たり前だと思います。</p> <p>高鍋ブランドの確立を目指してほしい もっとPRすべきでは？ 行政だけでなく、農業団体(農協、経済連等)と連携してみるのも1つの案と思う</p>	

7. 今後の外部評価に向けての提言及び要望

①事務事業の選定について（選択方法やヒアリング件数など）

- ・ 産業振興課からの選定が多かったようなので、各課バランスの取れた選定が必要と思います。
- ・ 少し産業振興課に負担が偏ってしまったが、おおむね妥当だと思われる。
- ・ 2年間で、知らない事業がまだまだあることが分かりました。1日あたりの件数を増やして、もっと多くの事業を評価してもいいと思います。
- ・ 対象事業の選定については、今年度は、事業項目表だけでなく各事業の概要も添付されていたため、効果的な事業選定の決定ができました。
- ・ ヒアリング件数については、4日間の日程においては適当な件数と思われます。
- ・ 適当な件数だと思います。選定も同じ方法で良いと思います。
- ・ 特に問題ないと思います。

②評価表及び補足資料について

- ・ 十分でした
- ・ 成果指標、活動指標に何を書かなければならないかをもう一度確認する必要がある。各課とも補足資料を利用し、評価表をうまく補足していた。
- ・ 評価表は事務的で分かりづらいですが、補足資料を作っていただいて、よく分かりました。
- ・ 評価表については、各項目別に理解しやすく、また、補足説明資料も添付されていたため、内容的にも十分な説明資料で、現状の資料で良いと思います。
- ・ 見るだけでは分かりづらかったですが、説明を聞くと分かりやすいです。
- ・ もう少し詳しくして欲しい。

③ヒアリング時における職員の対応について（説明能力等）

- ・ 十分な対応でした。
- ・ 内容、質疑への受け答えも、各課とても分かりやすかった。
- ・ 昨年に比べよく分かりやすく、聞き取りやすかったです。
- ・ 評価委員の説明質問に対し、一部正確な回答をいただけなかった項目もありましたが、全般的には良かったと思います。
- ・ 説明時間15分程度でしたが、重要で複雑な事業については、説明時間を多くしていただくよう要望します。
- ・ ていねいに説明していただいたと思います。
- ・ 説明不足があると思う。

④ヒアリングの日程時間等について

- ・ 良かったと思います。
- ・ 現在のメンバー構成ならば、来年度は2日もしくは3日間にまとめるべきと思われる。
- ・ 午前中のほうが良かった。子どもの帰宅時間とかぶって困りました。
- ・ 10事業の評価を4日間の日程で実施されましたが、日程及び時間割等も効果的な実施だったと思われます。
- ・ 良いと思います。
- ・ 仕事上、夕方に開催して欲しい。
- ・ 8、9月以外にも検討して欲しい。

⑤その他（自由記述）

- ・ 会議で出た意見を、ぜひ行政運営にいかしていただきたい。
- ・ 町民の意見が町政に反映されるといいですね。
- ・ 町民のための税金の使い方を考えて欲しいです。
- ・ 今年度の10事業評価のうち、予算面及び事業内容において、「防災事業」は町民の1人として一番関心を持ち評価させていただきました。今、日本列島は南海トラフの巨大地震の問題もあり、最悪の場合、高鍋町も巨大津波の被害想定が発表されております。町民みんなが一番関心を持って、行政の対応を期待しているのも事実です。そのため、「防災事業」は事業計画どおり、早急な事業促進を図ってほしいと思います。
迅速的確な事業促進を図っていただきたい。高鍋町民一人一人の生命を守る、安心、安全な町づくりになるよう、一層効果的、効率的な予算執行をしていただきたくお願いします。
- ・ なかなか参加することができなくてすみません。
- ・ 次回は妻が参加したいと言っていました。